

競技上の注意

1. 競技規則

2019 年度公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによるが、一部規程を設ける。

2. 選手の集合時間

試合開始予定時刻の 30 分前、または前の試合の 4 回終了時までには当該球場に集合すること。

3. 打順表の記入と提出

- (1) 試合開始予定時刻の 30 分前、または、前の試合の 4 回終了時に、打順表(5 枚 1 組)に、全ての必要事項を記入し、当該球場本部へ提出する。
- (2) 相手チームの打順表は、審判・記録員による照合確認の後、審判員より受け取る。

4. 攻守順の決定

- (1) 打順表提出のとき審判員立ち会いのもと「コイントス」により決定する。
- (2) コインの表裏の選択は、先着(打順表持参)チームに優先権を与える。

5. ベンチ

- (1) 組合せ番号の若い方を一塁側とする。
- (2) 球場に入り得る者は、申込書により登録された監督・コーチ・プレイヤー等の本人に限る。

6. フィールドイング

ベンチに入ることが許されたユニフォームを着用した監督・コーチ・プレイヤーで、後攻チームより 5 分間(終了予告 1 分前)とする。

なお、大会運営の関係で時間を短縮したりすることもある。

7. 競技用具の確認

- (1) バット・ヘルメットは規格外、および安全性に問題のあるものは使用を認めない。(大会終了まで大会本部で預かる)。
- (2) 金属製スパイクの使用は禁止する。

8. 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、棄権とみなす。

9. 試合開始

「集合準備」の合図でベンチ前に一列横隊に並び、「集合」の合図と同時に駆け足でホームプレートをはさんで整列する。

10. 攻守交代、選手交代

- (1) 全て駆け足で敏速に交代すること。
- (2) 選手の交代は、監督が球審に速やかにその旨通告すること。

11. 攻守交代時の試合球

- (1) 特に指示のない場合、ピッチャープレートの近くに置くこと。
- (2) 試合終了時には球審に渡すこと。

12. 試合方法

- (1) 試合はすべて7回戦とするが、試合開始後80分を経過した場合、新しいイニングには入らない。
- (2) 得点差によるコールドゲームはなし。
- (3) 7回を終了、または制限時間を経過して勝敗が決しないときは2回を限度としてタイブレーカーによるものとするが、なお同点の場合は抽選とする。
- (4) サスペンデッドゲームを採用するが審判員が替わることがある。

13. 抗議

- (1) 審判員の判断に基づく判定に対し、これに抗議することはできない。
- (2) 抗議については、ルール11-2項に限り、監督またはそれに代わる者がこれを質することができる。それに代わる者とは、事前に申し出のあった者(監督代行)のみである。

ルール11-2項

プレイングルールの解釈の間違い。
審判員のルールの適用の間違い。
違反に対するペナルティー適用の間違い。
チームメンバーの適格性。

14. 球場入り後の投球練習

- (1) 球場内のいかなる場所で投球練習をするときも、捕手はスロートガード付きマスクと捕手用ヘルメットを着用しなければならない。
- (2) 試合中の外野ファウル地域での投球練習は、バッテリー1組のみとする。

15. その他

- (1) 相手選手に危険を感じさせるようなプレイは一切厳禁する。このようなプレイを故意に行ったらとみなされたときは、直ちに退場を命ずる。
- (2) 投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チーム(応援者を含む)は、応援のための声だしや鳴り物を使用してはならない。
- (3) 落雷事故防止のため、雷鳴が聞こえた場合は、直ちに試合を中断する。
- (4) 荒天等で試合日程に変更が生じる場合の処置は、監督会議の席上で連絡する。